河南町 かなん ガイドマップ

観光

河南町 まち創造部
農林商工観光課

河南町のすがた

河南町は、大阪府の南東部に位置し、大阪市の中心部から25㎞圏にあります。
町域は、東西6.7㎞、南北7.5㎞にひろがり面積は25.26㎢です。北は太子町、西は富田林市、南は千早赤阪村と接し、東は葛城山系の稜線をはさんで奈良県の葛城市、御所市に接しています。

地形的にみると、金剛・葛城山脈に連なる山地部とその前面に広がる丘陵地、大和川支流の石川水系によって形成された段丘地などで構成されており、町域の３分の１の山地部が金剛生駒紀泉国定公園に指定されています。

河南町の歴史は古く、神山遺跡では約１万年前の縄文時代早期の土器がみつかっています。弥生時代の後期（２世紀）になると、東山や寛弘寺といった、町北部、西部の丘陵上に集落が築かれます。

古墳時代の集落のようすはあまり明らかになっていませんが、古墳時代前期中ごろ（４世紀）になると、寛弘寺の弥生時代後期の集落があった丘陵上に古墳が築かれはじめます。寛弘寺古墳群のはじまりです。古墳群はその後、７世紀にかけて100基以上の古墳が築かれました。後期（６世紀）になると町北部から太子町にかけての丘陵上にも古墳群が築かれます。総数約200基からなる一須賀古墳群です。

難波の宮と大和の飛鳥をむすぶ最古の官道である竹内街道に近い河南町を含む一帯は、大和の飛鳥が「遠つ飛鳥」と呼ばれたのに対し、「近つ飛鳥」と呼ばれていました。古代国家形成過程において重要な地域であったこの地には、アカハゲ古墳・ツカマリ古墳や太子町の王陵群といった古墳時代終末期（７世紀）の古墳が特に密集しており、往時のすがたをしのぶことができます。

千早赤阪村に近いこともあって、南北朝の戦乱期にはいくつかの山城が築かれました。平岩氏の居城であった平石城跡では、掘割や副郭など当時のすがたを比較的よくとどめています。

戦乱で荒れたこの地ですが、16世紀になると大ヶ塚で寺院を中心とした町場が形成され再び発展をはじめます。17世紀後半から19世紀にかけては地方商業都市として栄えました。

現在の河南町は、「大都市近郊の農業のまち」として発展し、「なにわの伝統野菜」などを栽培しています。

豊かな自然と歴史的環境にめぐまれた河南町を、このガイドマップを片手に歩いてみませんか。

観光ガイド 1 府立近つ飛鳥風土記の丘 近つ飛鳥博物館

ゆるやかな丘陵地一帯に102基もの古墳（一須賀古墳群）があり、自由に散策や、いくつかの石室内の見学をすることができる史跡公園です。展望台からは、古市古墳群、遠くに六甲の山並みや、淡路島などが望めます。

一角には、建築家、安藤忠雄氏設計の斬新な建物「近つ飛鳥博物館」があり、古墳・飛鳥時代の人々の生活を、実物資料や映像で楽しく学ぶこともできます。

QRコードでホームページへGO!

DATA
大阪府南河内郡河南町大字東山299番地
近鉄長野線喜志駅より金剛バス「近つ飛鳥博物館」下車、博物館までは風土記の丘入口から徒歩約８分
☎ 0721−93−8321（博物館）
博物館 9：45（展示室は10：00から）〜17：00（展示室の入館は16：30まで）、風土記の丘 9：30〜17：00
※営業時間・休みについてはHP等で要確認
P あり
¥ 博物館は有料、風土記の丘は無料
休 博物館は毎週月曜日（祝日の場合は火曜日）、臨時休館日あり、年末年始、風土記の丘は無休 🚻 あり
Web http://www.chikatsu-asuka.jp

観光ガイド 2 弘川寺 歴史と文化の森

「願はくば花の下にて春死なむ・・・」と詠んだ西行法師が終焉の地とした寺です。

山内には西行墳や西行堂、直筆といわれる掛け軸などの史料が展示されている西行記念館があります。

春になれば西行の愛した桜が境内一面に咲き乱れ、樹齢350年余りで府天然記念物のカイドウ（バラ科）が往時の面影をしのばせています。秋には美しい紅葉も楽しめます。

弘川寺周辺の桜山は、「弘川寺歴史と文化の森」として整備され、現在は桜の植樹など、里山の回復・保全の活動を行い、「弘川千年の森づくり」を行っています。

DATA
大阪府南河内郡河南町大字弘川43番地
近鉄長野線富田林駅より金剛バス「河内」又は「かなん桜小学校前」下車
☎ 0721−93−2814（弘川寺）
本坊庭園は10：00〜17：00、西行記念館の開館日春季：4月1日〜5月10日、秋季：10月10日〜11月20日
P あり 🚻 あり
¥ 本坊庭園拝観と西行記念館見学大人500円／小人200円

観光ガイド 3 4 高貴寺 磐船神社

●高貴寺＝修験道の祖といわれる役行者が創建したといわれ、弘法大師や高僧たちが修行をした名刹です。

国指定重要文化財の秘仏木造弁財天坐像や、後鳥羽上皇が寄贈された石造十三重塔、歌人石上露子の墓、葛城第二十五経塚などが残されています。

別名「香華寺」の名にふさわしく、樹齢110年のしだれ桜をはじめ、さつきや椿、さざんかなどが四季折々に境内を彩ります。

●磐船神社＝神木の栂（とが）にちなみ、通称・栂の宮と呼ばれ、饒速日命（にぎはやひのみこと）を祭っています。磐楠船（いわのくすふね）に当たる岩船や浪石、灯明岩などの巨岩、奇岩が並び、献灯祭などの古習を伝えています。

明治初年に神仏分離により、高貴寺と磐船神社として分離されました。

DATA
高貴寺＝大阪府南河内郡河南町大字平石539番地
近鉄長野線富田林駅より金剛バス「平石」下車
☎ 0721−93−2924 P あり 🚻 あり
磐船神社＝大阪府南河内郡河南町大字平石484番地
近鉄長野線富田林駅より金剛バス「平石」下車
P なし 🚻 なし

観光ガイド 5 金山古墳公園

全国でも珍しい瓢形双円墳で、前方後円墳が衰退する古墳時代後期（６世紀末から７世紀初頭）の築造とされています。

墳丘長85.8m、周濠を含む総長が102mと、双円墳では日本最大規模の大きさを誇る、国指定の史跡です。北丘の石室内には横穴式の石室があり、２つの家型石棺が安置されていて、副葬品が出土しました。

南丘にも石室があることが確認されましたが、未調査のため中の様子などはわかっていません。

1991年に国の史跡に指定され、公園として整備・保管されており、憩いの場や歴史学習の場として親しまれています。

DATA
大阪府南河内郡河南町大字芹生谷１８５番地の１
近鉄長野線富田林駅より金剛バス「芹生谷」下車
☎ 近鉄長野線富田林駅より金剛バス「芹生谷」下車
石室内ライト点灯時間、9：00〜17：00
P あり
🚻 なし

河南町

面　積：25.26㎢
町の花：ゆり
町の木：さくら

歌人西行法師の終焉の地として有名な弘川寺や、全国的にも珍しい双円墳の金山古墳など、古くから開けたこの地には優れた古墳や遺跡などの文化財が多くあります。町域の３分の１の山地部が、金剛生駒紀泉国定公園に指定された豊かな自然と歴史に恵まれたまちです。

お問い合わせ
〒585-8585 大阪府南河内郡河南町大字白木1359番地の6
電話番号：0721-93-2500（代表）　FAX：0721-93-4691
農林商工観光課
河南町ホームページ
http://www.town.kanan.osaka.jp/
QRコードでホームページへGO!

令和５年３月作成

観光ガイド 6 寛弘寺古墳公園

農地開発事業にともなう、この地域の遺跡の発掘調査は、1982年にはじまり2000年まで続きました。

発掘調査によって確認された古墳は総数92基。

４世紀中ごろから７世紀後半にかけて、このあたりの豪族が造ったと考えられています。

寛弘寺の古墳はどれも小型であったため、ほとんどが古い時代に壊され姿を消しましたが、4・5・6・7号墳の４基の古墳は古墳公園として、現地で保存整備されています。

この４基の古墳は、古くから「寛弘寺の七ツ墓」としてよく知られ、歴史的にも貴重なものです。寛弘寺古墳群の出土遺物は大阪府立近つ飛鳥博物館で保管・展示されています。

DATA
大阪府南河内郡河南町大字寛弘寺1324番地
近鉄長野線富田林駅より金剛バス「五軒家」下車
P あり
🚻 あり

観光ガイド 7 8 持尾城跡 平石城跡

●持尾城跡＝赤坂城の支城のひとつで、楠木正成と共に戦った平岩氏が平石城とともに築いた山城跡。逆茂木（さかもぎ）を並べた中世の城塞跡を留めています。展望がすばらしく、晴れた日には淡路島まで見渡すことができます。

●平石城跡＝赤坂城の支城のひとつで、府指定の史跡になっています。この地の豪族平岩茂直が元弘元年（1331年）、楠木正成の赤坂挙兵に応じてこの城に立てこもり、その後正平14年（1359年）楠木正儀がこの城を固め足利勢と戦いました。

DATA
持尾城跡＝大阪府南河内郡河南町大字持尾964番地
近鉄長野線富田林駅より金剛バス「滝谷口」下車
P なし
🚻 なし
平石城跡＝大阪府南河内郡河南町大字平石22番地
近鉄長野線富田林駅より金剛バス「平石」下車
P なし
🚻 なし

観光ガイド 9 岩橋山 久米の岩橋

葛城山系の峰の一つで、標高658.6m、河南町、葛城市にまたがる岩橋山は、役行者が奈良県御所市に鎮座する一言主神をはじめとする、日本の神々に、吉野地方にある金峰山まで岩の橋を架けるよう命じたという伝説が名前の由来とされ、現在、山頂付近にその橋の名残と言われる「久米の岩橋」があります。

また山腹には、「鍋釜石」「鉾立石」「胎内くぐり」などの巨石や奇石、大阪で最も高所にある古墳群「持尾古墳群」があります。

山頂は、「ダイヤモンドトレール」という長距離自然歩道上にあり、平石峠には、「葛城第二十四経塚」があります。

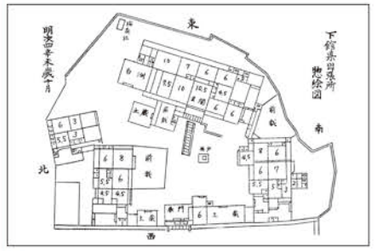
DATA
大阪府南河内郡河南町大字平石
近鉄長野線富田林駅より金剛バス「平石」下車
P なし
🚻 なし

観光ガイド 10 白木陣屋跡

伊勢国神戸藩の領主で大阪城番の石川総長（いしかわ ふさなが）は、寛文元年（1661年）に白木北側の高台に役所（白木陣屋）を築きました。領主に代わって代官がこの地を治めることとなり、石川氏は総長の孫、総茂の代に常陸国下館藩に移されましたが、河内の領地はそのまま残り、幕末までこの役所は代官所として使用されました。

陣屋は、絵図をみると多くの建物や蔵が並ぶ立派なものであったことがわかります。

陣屋の敷地はしばらく郷学校として使われ、その後、開墾され畑となっていますが、今は300年を超えても崩れもしない石垣がその記憶を伝えています。



DATA
大阪府南河内郡河南町大字白木449番地の１他
近鉄長野線富田林駅より金剛バス「白木」下車
P なし
🚻 なし

観光ガイド 11 道の駅「かなん」

道の駅「かなん」は、大阪中心部から南大阪地域を通過し奈良と直結する広域幹線道路である国道309号沿いに位置する道の駅です。

パーキングエリアには駐車場、トイレ、休憩所などがあり、ドライバーにくつろぎの場を提供しています。また、併設の直売所（河南町農村活性化センター）では、地場産にこだわった新鮮な朝どり野菜や、地元素材を使った、もち、米粉パン、ジャムなどの加工品を製造直売しています。

DATA
大阪府南河内郡河南町大字神山523番地の１他
☎ 0721−90−3911
9：00〜17：00（土・日・祝日は、8：30から朝市開催）
P あり
休 12/31〜1/4は休館
🚻 あり
※ トイレ・駐車場・公衆電話は24時間利用できます。